



グリーンたいむ



発行：グリーンコープ生活協同組合くまもと
<https://greencoop-kumamoto.jp/>



慶春

グリーンコープ生協くまもとの理事長、専務理事、東と西の地域理事長、および地域専務より、2024年にかける思いをお届けします。



西地域本部
地域理事長
八木 佳奈

今年度は任期満了となり、地域理事長として7年間務めさせていただきました。グリーンコープ一色で過ごしていただけに寂しさを感じますが、これまでの素敵な出会いや経験を忘れずに、今年度は心機一転、また違う道で頑張ってください。これまで応援して関わってくださった全ての方に感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。今後楽しみになります。



グリーンコープ生協
くまもと理事長
小林 香織

2024年は、努力が実を結ぶ年と言われています。グリーンコープは自然と人とのちを守る運動を続けてきました。GMOフリーゾーン運動全国交流集会での食ベモの運動を皮切りに、カーボンニュートラルなどの運動が実を結びたいと思います。



東地域本部
地域理事長
株元 知子

今年は甲辰の年。大きな出来事が起こり、時代が動く年になりそうとのこと。大きな変化に戸惑うこともありませんが、私は変化を楽しみ、上手くその波に乗って、今までは違った何かを体験できるんだ！とワクワクしています。みんなで楽しみましょう！



西地域本部
地域専務
井上 厚志

今年度も一緒に、元気に、行動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



グリーンコープ生協
くまもと 専務理事
上村 猛

過日開催された臨時総代会において、カーボンニュートラルの取り組みについて可決、承認いただきました。受けて、次年度はEVトラックの導入が進むこととなります。全事業所の車両を一気に変えることは経営的に難しい部分がありますので、少しずつ導入していきます。配送担当者の負担軽減にもつながりますので、今後とも配送担当者の一歩の応援者として見守っていただきますよう、お願いいたします。



東地域本部
地域専務
岩間 陸幸

グリーンコープは、みどりの地球をみどりのままで子どもたちへの残していくために、現在の地球温暖化による気候変動問題に対し、これまで以上に真剣に取り組んでまいります。本年も皆様のご協力を、どうぞよろしく願います。

2024年度 地域組合員総会を開催します

★開催期間：2024年2月5日(月)～3月8日(金) ★全34地区

地域組合員総会は、組合員主権を貫くため、生協の3原則「出資」「利用」「運営」を組合員一人ひとりが理解し、自らの意思で決議する場です。組合員にとって一番身近な地区運営に関わって、活動や事業について知り、決定に参加できる大切な場です。ぜひ、参加しましょう！

詳細は、地区運営委員会から届く案内状をご覧ください。

もくじ

- 1：新年のあいさつ、2024年度 地域組合員総会案内 / 2：東地域本部のページ / 3：西地域本部のページ / 4～5：2023年度 産直交流活動報告 / 6：福祉活動組合員基金 2023年度 助成報告会案内、後期助成決定 / 7：わたしとグリーンコープ、こんにちは！ワーカーズです、市民電力関連 / 8：「第18回 GMOフリーゾーン運動全国交流集会 in くまもと」カウントダウン、自生遺伝子組み換えナタネ汚染調査をしてみませんか？、リユース・リサイクル状況



グリーンコープは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



© 2010 くまモン

商品おすすめ委員会活動報告



8月8日(火) 秋川牧園学習会
丸鶏の解体と若鶏きもの料理講習会
54人参加

秋川牧園の歴史から産直若鶏のこだわり、丸鶏解体、🌿「産直若鶏きも」の料理、質疑応答と盛りだくさんの学習内容でした。

「口に入るものは間違っはいけない」秋川牧園の理念は、生産者も消費する私たちも、常に考えさせられる大切な言葉だと思いました。

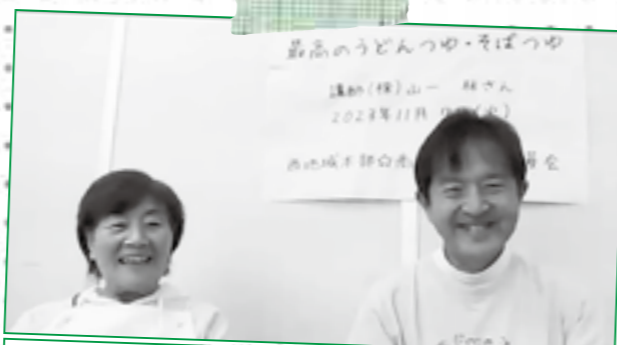
「お肉の臭みは食べているもので変わる」お肉は臭いものだと思っていましたが、餌や育つ環境が影響していたのには驚きました。



講師の永井さん

当日は鶏レバースタミナ焼きを調理
🌿「産直若鶏きも」は臭みが無いのが特長で、牛乳や水に浸けての下処理は不要で、軽くクッキングペーパーで押さえるだけでOK!!
レシピは秋川牧園HPに掲載されています。

11月7日(火) 山一学習会
出汁職人から教わる
最高のうどんつゆ・そばつゆ
37人参加



終わりの挨拶
柴田さん

講師の林さん

手軽！美味しい！毎日の味噌汁の出汁

1Lの水に昆布を一晩(少なくとも1時間) 浸け、沸騰しない温度(約70℃)まで沸かし、昆布を取り出す。
🌿「混合削りぶし(さば・いわし・あじ)」を20g入れて1分。火を止め5分待ち、ざるを使って濾して、完成!



東地域本部 福祉講演会

2023年11月14日(火)

「HSPについてのお話会」 ～HSPって、なあに? 知ることから始めよう～

を開催しました

講師に「私時間プロジェクトあおす」大塚里香さん・坂本由香利さんをお迎えし、まず坂本さんの落ち着いた雰囲気ですぐ2冊の絵本の読み聞かせをしていただきました。参加者がリラックスした後に、HSP(High Sensitive Person)についてどのようなタイプがあるのか、実際どのように過ごせばいいのか、周囲にHSPの方がいたらどのように接すればいいのかをお話いただきました。



絵本セラピスト 坂本由香利さん



東部センター2階会議室で行いました

HSPとは視覚や聴覚などの感覚が敏感で刺激を受けやすい特性があり、「繊細さん」とも呼ばれています。HSPには、感覚系・共感系・洞察系があって、個人によりバランスの違いがあるそうです。そして、HSS(刺激追求型)というタイプもあり、好奇心旺盛・型通りが苦手・いつもの環境にはすぐ退屈する・安全だと思えば新しい人や物事にすぐ関わっていきける・自分で立てた計画に圧倒されてしまう特徴があるそうです。

お話会では自分を知るための自己判断テストや、グループトークにワークタイム、そして瞑想を行いました。大塚さんから「自分を好きになれない時がありましたが、自分がHSPと知り、生きやすくなりました。HSPは5人に1人とされていて、HSPは特別なギフトと思って小さな幸せを見つけるといいですよ」とのアドバイスをいただきました。参加者からは「行動や環境を変えることで対処できるのが分かりました」との感想があり、HSPを知ることにより、さまざまな方が生きやすい世の中になってほしいと思いました。

福祉活動委員長 廣末 信代



58人の方に参加していただきました

※この講演会は福祉活動組合員基金(100円基金)に助成申請し、開催しました。



2023年度 産直交流活動報告



「やまびこ会 れんこん収穫体験&交流会」



昨年度、開催直前に中止になった取り組みを、今年度は7月27日(木)に無事開催することができました。(29人参加)

収穫体験では、圃場一面に蓮、所々に蓮の花が咲いており、参加者はその大きさに感動、その下にれんこんがあることに子どもたちは驚いていました。皆、泥だらけになり夢中で収穫したれんこんは、とても大きく、また、生産者の大変さを知ることができました。

交流会では、婦人部の方によるれんこん料理に舌鼓を打ちながら、作り方を聞いたり、ゲームをして楽しく交流しました。対面で交流できる有り難さを改めて感じた取り組みになりました。

玉名南地区委員長 松田 美智子



「(株)阿蘇小国郷 ほうれん草と小松菜収穫体験」



10月28日(土)に、(株)阿蘇小国郷へほうれん草と小松菜の収穫体験に伺いました。生産者の皆さんとヤギのしろちゃんに温かく迎えていただきました。ふかふかの柔らかい土と、きれいに整えられた圃場でした。12月には鹿本センターに生産者さんをお呼びして、しめ縄作りを行いました。

鹿本地域委員長 中島 ゆかり



西地域本部

「愛農会との産直交流会」(西部・松橋)



11月18日(土)、里芋の圃場で掘り起こした1株の大きさにびっくり。ふかふかの土に包まれた人参を子どもがワクワク。昼食は愛農会の野菜たっぷりの豚汁で身体も心もポッカポカ。美味しかった。「おおきな人参」の劇を生産者、子どもたち、参加者で楽しく交流しました。

西部地域委員長 日向 初美



「風鈴会 野菜収穫体験」

ワーカーズ
の会



11月4日(土)、ワーカーズの会の生協系・福祉系ワーカーズから合わせて約30人が参加して開催。圃場に到着すると、整然と並んだ約7,000株のグリーンボールが朝露を浴びてキラキラ輝いていました。「8月上旬に種をまき15日に定植。その後の少雨のため生育は遅れ気味です」と生産者の工藤さん。収穫前の試食で、そのまま食べると「甘くてサクサクとした歯触りでとても美味しい!」と感激する参加者。お店のワーカーズの皆さんは、「採れたてをお店で販売したい」と、はりきって収穫していました。交流会では、会長の本田さんが楽しいクイズで盛り上げてくださいました。

圃場は11月とは思えない強い日差しで暑く、キャベツの生産者の方は、「今年は猛暑が続き、たまに雨が降ることで中心が蒸れ、出荷後に傷みが出ることもあった」と話され、温暖化の影響は想像を超えていると感じました。さまざまな職種のワーカーズと共に産地で体感したことを、仲間のワーカーや組合員へ伝え、多くの利用につなげたいと思います。

(広報室取材)



グリーンコープは、青果や米などの生産者との顔の見える関係を大切にするため、組合員と生産者が出会い、交流する産直交流活動に取り組んでいます。くまもとでは今年度、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「5類」に移行したことを受け、地域本部や地域委員会、地区運営委員会などが、産地へ出向いたり生産者の皆さんを招いての交流会を、対面で活発に行いました。

「御岳会 収穫体験と昼食交流会」

8月4日(金)、貸切バスにて大人7人、子ども11人参加。

到着するとすぐ、生産者の送迎で圃場へ。新鮮なきゅうり、なす、オクラ、ピーマンの収穫にワクワク。採れたてピーマンのれかじりに「甘〜い!」。2歳児もムシャムシャ。

圃場から移動しての昼食会は、通潤橋の放水の時間にも合わせて場所を設置してください、3種の美味しいカレーと新鮮野菜のお惣菜が盛りだくさん。子どもたちにはバルーンアートのサービス。クイズ大会のお楽しみ。期待を超えるおもてなしに参加者一同大感激。もう御岳会さんの大ファンに。以来、お野菜セットを毎週注文するほどに。

顔の見える温かい産直交流に万歳!感謝。
しみず地区 副委員長 田河内 由加



東地域本部



「レッツゴー田んぼ in JA阿蘇阿蘇町 田植え」

5月14日(日)、理事長・委員長会メンバーとその家族、計23人で田植えを行いました。圃場の半分程を参加者で植え、

残りは田植え機で生産者に植えていただきましたが、子どもたちは田植え機に乗せてもらい、貴重な体験ができました。

昼食は、生産者の方と一緒にテーブルを囲んで楽しく交流しました。また、バケツ稲の育て方を分かりやすく説明していただき、栽培する意欲が高まりました。

秋の稲刈りを楽しみにしながら、交流会を終えました。

理事長 小林 香織



「レッツゴー田んぼ in JA阿蘇阿蘇町 稲刈り」

本部



9月9日(土)、大人と子ども合わせて14人で稲刈りを行いました。生産者の皆さんが丁寧に鎌の使い方と刈り方の注意

点を教えてくださり、子どもたちも集中して一生懸命取り組みました。また、子どもたちはコンバインに乗車させてもらい、なかなかできない経験をさせていただきました。

今年度から本格的に昼食交流が再開となり、婦人部会の皆さん手作りの美味しい昼食を囲んで、生産者の皆さんから、日頃のご苦労や産地の様子をお聞きすることができました。

東地域本部 環境活動委員長 久保 智絵美



わたしとグリーンコープ



県南地域委員会
八代南地区委員長
福田 知佐

子どもへの食育

今、男の子4人を育てています。何でもよく食べるので、成長するにつれて食べるものには気を遣います。そんな折、縁があつて組合員活動に参加させていただき、活動の中でいろいろ聞いたことや勉強したことを子どもたちに話をしていたら、自分たちで買うお菓子類は裏の表示を見て買うようになりました。

次男はアレルギーがあり、最近自分の体のことがよく分かって、飲料水ほか市販のものが苦手です。できるだけグリーンコープのものを使いたいのです。これから先の地球環境のことを考えると子どもたちが心配です。なので、食だけでも農薬や添加物などを使っていない安心・安全なものを自ら選び、食べてほしいと思います。グリーンコープとの出会いに感謝です。

一般財団法人グリーンコープ生協くまもと福祉活動組合員基金 2023年度 助成報告会



～100円でつながるみんなの「わ」～を開催します

福祉活動組合員基金は、組合員から毎月100円を拠出していただき、「誰もが安心して暮らし」「住んでる街を住みたい街に」するために活用されています。2023年度もグリーンコープの福祉事業をはじめ、地域で組合員が取り組む活動へ助成を行いました。基金の意義やグリーンコープの参加型地域福祉の拡がりなど、100円基金について学んでみませんか。

日時：2024年2月15日(木) 10時30分～13時
場所：くまもと森都心プラザ 5階ホール
申込締切：2024年2月5日(月)
お問い合わせ・お申し込み先：福祉活動組合員基金事務局（北島）
☎096-324-8143（月～金、9時～17時）

私たちの100円がどのように活かされているか知ることができます。ぜひ、ご参加ください。



2024年度の助成申請説明会のご案内は「グリーンたいむ」2月号に掲載します

2023年度福祉活動組合員基金後期の助成先と主な用途

申請団体（個人）	助成金額	主な用途
野崎 知美	300,000円	人件費、会場代、消耗品費など
一般社団法人こどもキッチンブルービー	300,000円	家賃
NPO法人 まいせるふ	300,000円	送迎車購入の頭金
季節を楽しもう会「わくわく」	215,200円	研修費、保険代、物品購入費、ワークショップ開催費など
天才合宿	300,000円	備品費、人件費、交通費
ロービジョンフットサル日本代表を応援する会	174,555円	サッカーボール、バッグ、ゴーグル
地域団体（個人）	400,000円	地域たすけあい絆・「とんぼ」運営費
	453,874円	「らくらく家計簿クラブ」サークル活動費
	89,709円	2022年度「子育てサークル」活動費（西地域本部）
	58,712円	2022年度「子育てサークル」活動費（東地域本部）
	300,000円	「F P円緑」運営費、交通費、研修費など
	1,474,000円	「食育の会わくわく」子ども料理教室などに伴う費用
	600,000円	「ましきスマイルいきいき館」地代家賃
	26,000円	西地域本部「さなぎの会」運営費
	31,000円	西地域本部福祉講演会
	12,780円	西地域本部組合員活動におけるタクシー代
グリーンコープ生協くまもと理事会	1,278,132円	「福祉センター三里木」建設に係る借入金 2023年度利息
	4,867,640円	「子育てサポートセンター」2023年度運営費など
社会福祉法人グリーンコープ		
総合計	11,181,602円	

こんにちは！ワーカーズです

一般社団法人ハピネス



副代表
内田 美紀

私がワーカーになったのは16年前で、当時はワーカーの人数も現在の半分以下でした。私も、まだ子どもが保育園児でしたので、1週間のうち、配送の半日コースを3日しか走っていませんでした。その頃は子どもが病気をし休まなければならぬ時も、マネージャーをはじめ、ワーカーの皆さんに助けられていました。当時は、マネージャー、サブマネージャーが在籍していました。

現在のハピネスは、配送を中心に、総務、パンやさん、倉庫業務を担っていて、27人のワーカーが日々頑張っています。私も副代表という責任のある立場にいますが、日々楽しいこと、つらいことを皆で乗り越えながら、「ワーカーで良かった」と思ってもらえるハピネスにしたいと思っています。

杖立温泉熱バイナリー発電所の様子

11月14・15日に井戸の浚渫作業（井戸の掃除）が行われました。今回の浚渫作業に合わせて、理事（組合員）数名で発電所内の草取りを行いました。とても寒い中での作業にはなりましたが、交流も含め発電所の様子なども聞けて、とても良い機会となりました。今回の浚渫と同時に機械の改良やメンテナンスによって、出力の向上に加えて安定した稼働となっています。

杖立温泉熱バイナリー発電所は、グリーンコープの市民発電所、「グリーンコープでんき」の電源としても活用されています。

「グリーンコープでんき」担当常務 高田 幸



グリーンコープ生協くまもとの状況（12月）	
グリーン電力出資金	「グリーンコープでんき」申込状況
12月13日現在 124,956,000円	12月13日現在 789件
目標 316,533,186円	2023年度目標 1,000件

グリーンコープでんき
お申し込みは...
申込書請求は、注文書の特別
申込欄に申込番号(3995)と
数量を記入し、ご提出ください。



2024年2月24日(土)～25日(日)開催!

「第18回 GMOフリーゾーン運動全国交流集会 in くまもと」

於：くまもと森都心プラザ



開催まであと1ヶ月

グリーンクラブを代表して実行委員を務めるのは3回目になります。これまで自身で対応してきた他単協での学習会や交流会などでは、率先して専用Tシャツを着用し「20240224」を合言葉に、心を込めてPRしてまいりました。

当日は「海産物におけるGMO」の視点から、私どもの取引生産者である天草市牛深の江良水産さんにパネリストとしてご登壇、報告をいただくことになっています。

開催まであとわずか。会場で、多くの皆さまとGMOを通じてお会いできることを楽しみにしています。
実行委員 株式会社 山一 林 尚樹

2024年度募集

自生遺伝子組み換えナタネ汚染調査をしてみませんか?

グリーンコープ生協くまもとでは、2005年から「自生遺伝子組み換えナタネ汚染調査活動」に取り組んでいます。2023年度は熊本県内の80ヶ所で実施し全てが陰性でしたが、弛まぬ調査が必要です。

道路沿いにポツンと咲いているアブラナ科の植物(菜の花・からし菜など)を見つけたら、実際にあなたの目で確かめてみませんか?

八代港埠頭付近にて。昨年の採取の様子。



調査要綱：自生しているアブラナ科の植物を採取し、簡易検査キットを使用して、その場で遺伝子組み換えナタネかどうかを調べます。(所要時間は10分ほど) 組合員事務局員が出向き、一緒に調査を行いますので、お気軽にお申し込みください。

募集人数：5人程度 申込締切：2024年2月22日(木)

申込先：本部組合員事務局 ☎096-324-8145 (平日の月～金、10時～17時)

お気軽に
お電話ください♡
待ってまーす!

もしもし♪ 電話コーナー



お金の問題で困っていませんか? まずはお電話ください。

生活再生相談室

熊本相談室 ☎096-243-2100
八代相談室 ☎0965-45-5133
月～金・第3土曜日 9時30分～18時

生活まるごとなんでも相談できます。

ふくし情報でんわ

ごようは ふくし ☎0120-540-294
携帯電話からは ☎096-337-7226
月～金/10時～16時 ※祝日は休み

24時間受付・年中無休 グリーンコープ 葬祭サービス

☎0120-222-782
「自然庵」との協働事業です。葬儀だけでなく、相続問題やお墓、供養、法事についての相談なども受け付けています。

昼や夜の張り替え、引っ越しなど、お気軽にお問い合わせください。

生活情報誌

くらしアップ くまもと

QRコード
ホームページ▲ ☎0120-518-141
月～金/9時～17時30分 窓口：グリーンコープレインボー

編集者だより
近年、野菜の皮むきにピーラーを使うのが普通になっていくように、怖いので使ったことがない。情報によると包丁での皮むきの方が前頭葉の刺激になるらしい。一方、新しいことに挑戦するのも前頭葉の刺激に役立つらしいので、ピーラーを使い始めることも脳にとってはプラス要因のようだが、年の初めを考慮して何か新しいことを考え、実行に移すことで、前頭葉の刺激に役立つように思う。(伊藤)



近年、野菜の皮むきにピーラーを使うのが普通になっていくように、怖いので使ったことがない。情報によると包丁での皮むきの方が前頭葉の刺激になるらしい。一方、新しいことに挑戦するのも前頭葉の刺激に役立つらしいので、ピーラーを使い始めることも脳にとってはプラス要因のようだが、年の初めを考慮して何か新しいことを考え、実行に移すことで、前頭葉の刺激に役立つように思う。(伊藤)

発行 グリーンコープ生活協同組合くまもと

発行責任/理事会 編集/広報室 発行所/〒860-0056 熊本市西区新土河原2丁目1-1 ☎096-324-8118(代) FAX 096-324-8123 印刷所/ホープ印刷㈱

■東地域本部 26,168人 ■西地域本部 39,011人 合計 65,179人 (11月25日現在店舗組合員を含む)

グリーンコープ生協くまもと リユース・リサイクル状況(11月分)

牛乳びん回収率 びんが不足状態のため一時中止	カタログ回収率 78.0%
リユースびん回収率 58.2%	リサイクルトレー回収率 91.2%
仕分け袋回収率※ 17.57%	モールドパック回収率※ 96.2%

※グリーンコープ全体の回収率

グリーンコープ生協くまもとのホームページ (<https://greencoop-kumamoto.jp/>) に最新情報更新中! ぜひアクセスしてください。携帯電話は、こちらの二次元コードよりアクセスできます。➡

